

令和4年度第1回半田市子育て支援事業検討プロジェクト会議議事録

開催日時	令和4年8月18日(木)	10時00分～11時30分
開催場所	クラシティ 3階 ミーティングルーム B	
会議次第	1 委員委嘱 2 あいさつ 3 自己紹介 4 市長との懇談 5 事務局からの連絡事項 6 会長及び副会長の選出 7 その他	
出席委員	(委員) 市民委員5名、市職員委員3名	
出席職員	子ども未来部長 伊藤 奈美 子ども育成課長 小林 徹 子ども育成課副主幹 榊原 秀夫 子ども育成課主事 服部 晃良 子育て相談課保健師 今井 美里	
	議事概要	
	<p><委員からの意見></p> <p>○半田市の良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半田市は基本的には子育てする環境が整っていると感じる。 ・半田市は週末にイベントが多い。また、半田市を盛り上げようとする市民が SNS で情報発信している。 <p>○改善してほしいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時の遊び場が少ないように思う。 ・共働きのため子どもが病気になった際に、預ける場所が少ないと感じる。 ・情報収集する際、はんだっこネットは、欲しい情報にたどり着くのに時間がかかる。 ・情報発信の際、写真や動画がもっと掲載されていると雰囲気もわかり安心できる。 ・保育園の入園が年度途中のため、二か月前からの申し込みであった。それにより、行かせたい保育園に行けなかった。通園可能な保育園が4月から空きがなくなっていく状況は、復職するにあたりとても焦りを感じた。一斉申し込みの際に、申し込みできるようにしてほしい。 ・入園の手続きについて、紙の書類をたくさん提出しなければならなかった。市と保育園に重複する情報を何度も書いた。電子申請できるような仕組みがほしい。 ・半田市の早朝保育は7時30分からであるため、通勤可能な範囲が限られてしまう。 ・はんだっこやぴよぴよの一時預かりができる施設の定員制限があり、予約が前提のため、行きたいときに行けない。 ・地域で利用できる施設は児童センターだが、同年齢の子と遊べる機会を求めて行っても実際にはいない。乳児が遊べる場所が限定されているため、もっと地域に分散できるとよいと思う。 	

- ・児童センターをよく利用するが、フリーの時間で乳幼児を優先して遊ばせていただける時間があると良い。
- ・公共の施設は、子どもを連れて食事できるスペースがあまりない。離乳食をもって遊びにいけるようになると親の息抜きにもつながると思う。
- ・男性の育児参加について、市として父親の育児参加を促すような事業を増やしてほしい。子育て講座を父親が参加しやすい土曜日に開催してはどうか。また、講座等をオンライン配信していただくことで、父親はもちろんのこと、働くお母さんたちも見ることができるようになる。
- ・小学校の給食では、アレルギー対応できないと聞いた。小学校でもとりいれてほしい。 → 給食センターを新設する際、アレルギー対応を今より進める予定。
- ・働きながら子育てをしている市民のためにオンライン申請が増えるといい。
- ・職場が大府市であるが、大府市は英語や音楽教育に力が入っていると感じる。半田市は、そうした教育が充実していないように思う。
- ・雨天の日曜日は、施設で行ける場所は、はんだっしかなかく、予約が集中してしまう。当番制でもいいので、どこかの児童センターが日曜日に利用できるとよい。
- ・男性の育児参加について、四日市市では父親の育児講座を開催している。受講者同士でパパサークルができ、そこに参加しているお父さんたちが情報発信をして、つながりが広がっている。男性でもそうしたことに参加したい人はいると思うので、機会さえあれば同じような形ができるのではないかなと思う。
- ・私の次男もたまごアレルギーがあり、保育園に通っているときとても大変だった。毎日のように弁当を持っていったが、給食費は同じ金額払っていた。
- ・半田市の小学校では集団登校がないと聞いて、今とても不安に感じている。地域の人が小学校まで連れて行ってくれるような制度がつかれないかなと思う。
- ・子どもがトイレトレーニングをしているときに、よく利用していた児童センターには小さいトイレがなかったので、その時期は不便だと感じた。
- ・半田市では、中学生から医療費がかかると聞いた。大府市では高校生まで無料なので、そうしたところも変わるとういと思った。
- ・子どもがピアノを習っているが、ホールを使用したいと思ったときに、半田市では利用できる場所がない。他市と比べて、半田市にはそうした場所がないように思う。